



## 概要

“こざかいこども園”は、愛知県豊川市に2025年4月から開園する認定こども園であり、豊川市から「社会福祉法人 清源会」へ民間移管される。本園の設計は、S.A.Sarchiが担当している。

本プロジェクトでは、インテリアデザインの提案、及び、こどもたちの居場所の創出をS.A.Sarchiと協働で行った。



## 目的

■インテリアデザインの提案  
…ワークショップを通して、家具の選定や、サイン計画などを行い、学生ならではの視点やアイディアを取り入れた提案を目指す。

■こどもたちの居場所の創出  
…ニッチと階段下のホールにオリジナル家具を提案し、こざかいこども園のシンボルになることを目指す。



## 背景

「橋本雅好研究室のこれまでの活動」と、「自分自身の想い」から、このプロジェクトに携わることにした。  
橋本雅好研究室では、新たにできる“こざかいこども園”に、どのような空間やデザインを作ればこどもたちにとって楽しい、自分たちのこども園になるかを考えるワークショップ（2022年度）を、計3回実施した。そこで出たアイディアを活かしながら提案をすることを目標とした。  
私は、こどものことが大好きで、いつかこどもたちのために何かしてあげたいという想いがあり、椋山女学園大学に入学するときに、「大好きなこどもたちのために遊び場を創る」という目標をたてた。  
よって、先輩方の活動を引き継ぎ、自分自身の想いも現実にとできると考え、協働プロジェクトに参画した。

## インテリアデザインの提案

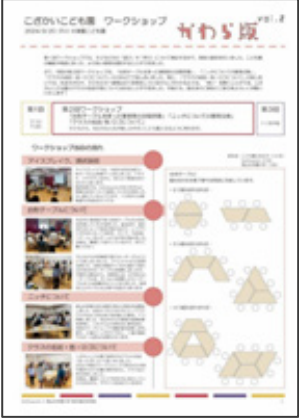
### ■ワークショップの企画

（※ワークショップごとに、かわら版を作成し、こども園の先生方に情報を共有した。）

第1回（2024/7/10、20）  
目標：こどもたちの「遊び」や「学び」について検討する中で、家具の選定をしよう！  
内容：現象説明、家具の選定、ニッチ/階段下のアンケート



第2回（2024/9/20）  
目標：こどもたち、先生方みんなが親しみやすいこども園になるように考えよう！  
内容：現状説明、台形テーブルについて、ニッチについて意見交換、クラスの名前/色/ロゴ



第3回（2024/11/15）  
目標：こどもたち、先生方みんなが親しみやすいこども園になるように考えよう！  
内容：現状説明、全体の仕上げ（外観/内観）、鍵/管理のソーニング、ニッチ/階段下の最終提案、クラスのロゴ

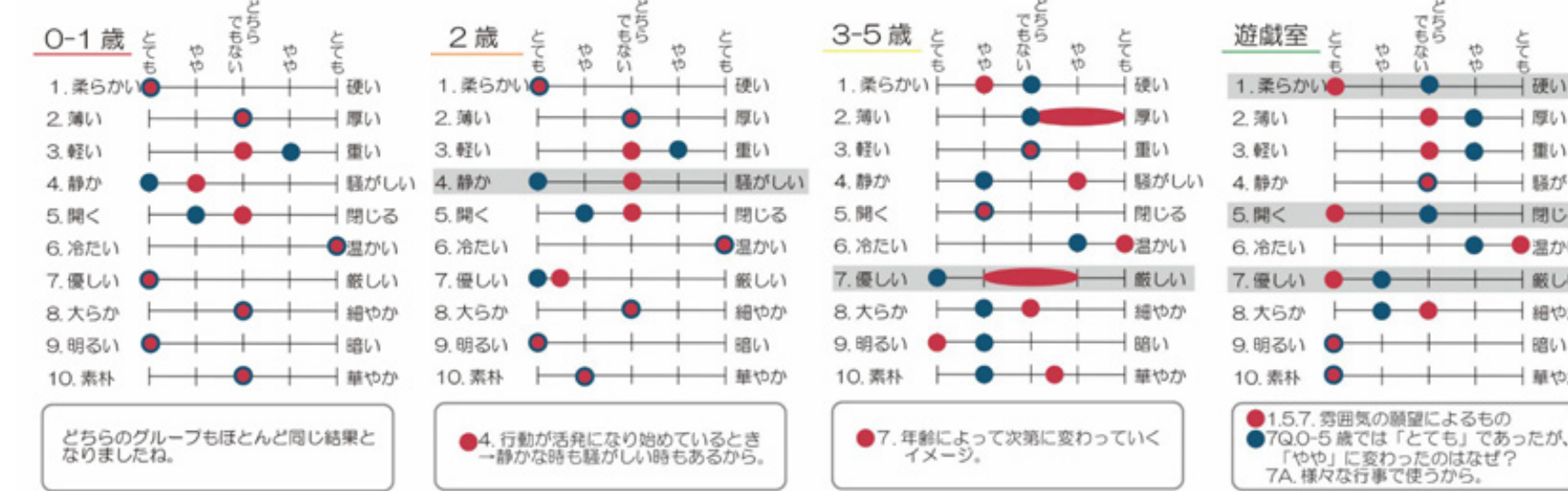


### ■家具の選定

事前に、家具ごとに3-5個の候補を出し、一覧表【図1】を作成した。そして、第1回ワークショップ当日に、家具を置く7つの場所（0-1歳保育室、2歳保育室、3-5歳保育室、時間外保育室、遊戯室、事務室、階段下/ニッチ）のイメージ共有をするため、指標【図2】を用いて行った。そして、一覧表を元に、先生方と話し合い家具を選定した。



【図1】一覧表（例：乳児用椅子）

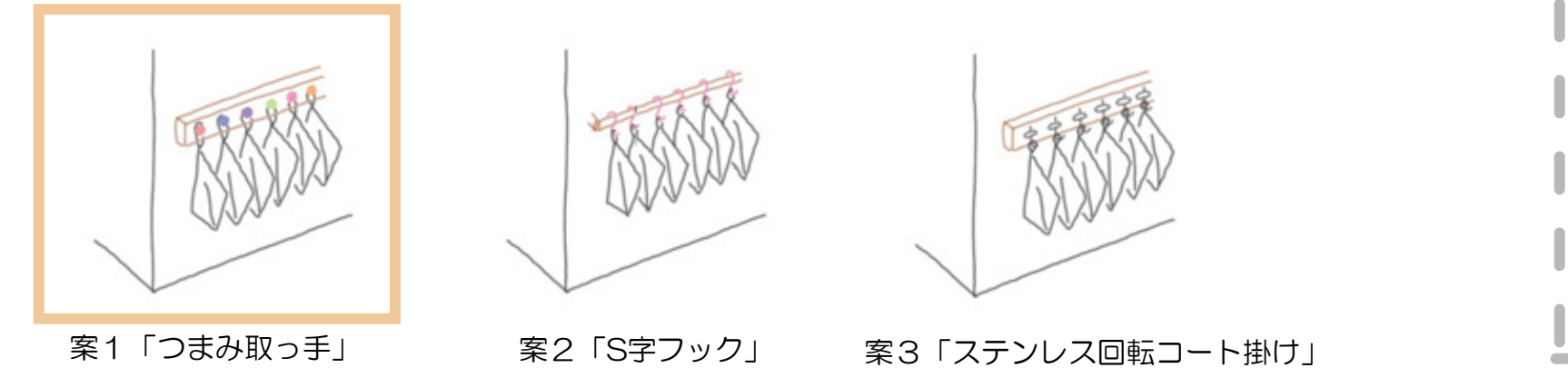


【図2】指標

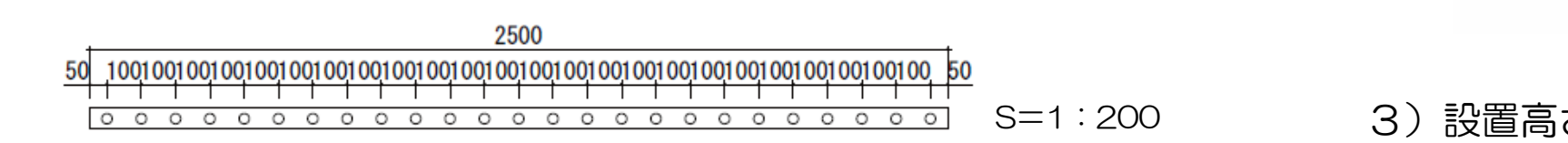
### ■造作家具の提案

「タオル掛け」「おむつ収納棚」「ローテーブル」の計3種類の造作家具を提案した。

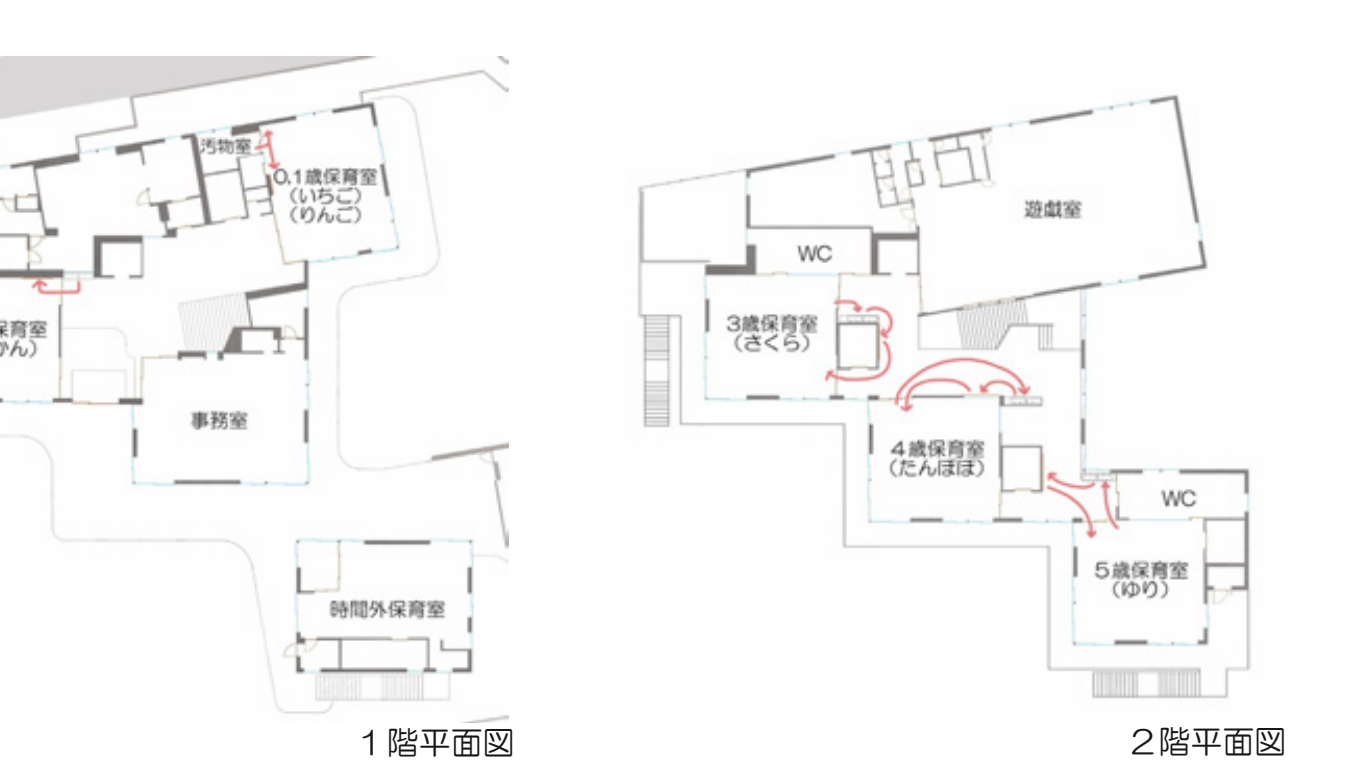
■タオル掛けについて  
形状を考え、設置場所と設置高さを提案した。



1) 形状について  
つまみ取っ手を60-150mm間隔に設置し、タオル同士が接触しないようにするために、最適な間隔（=100mm）を調べた。



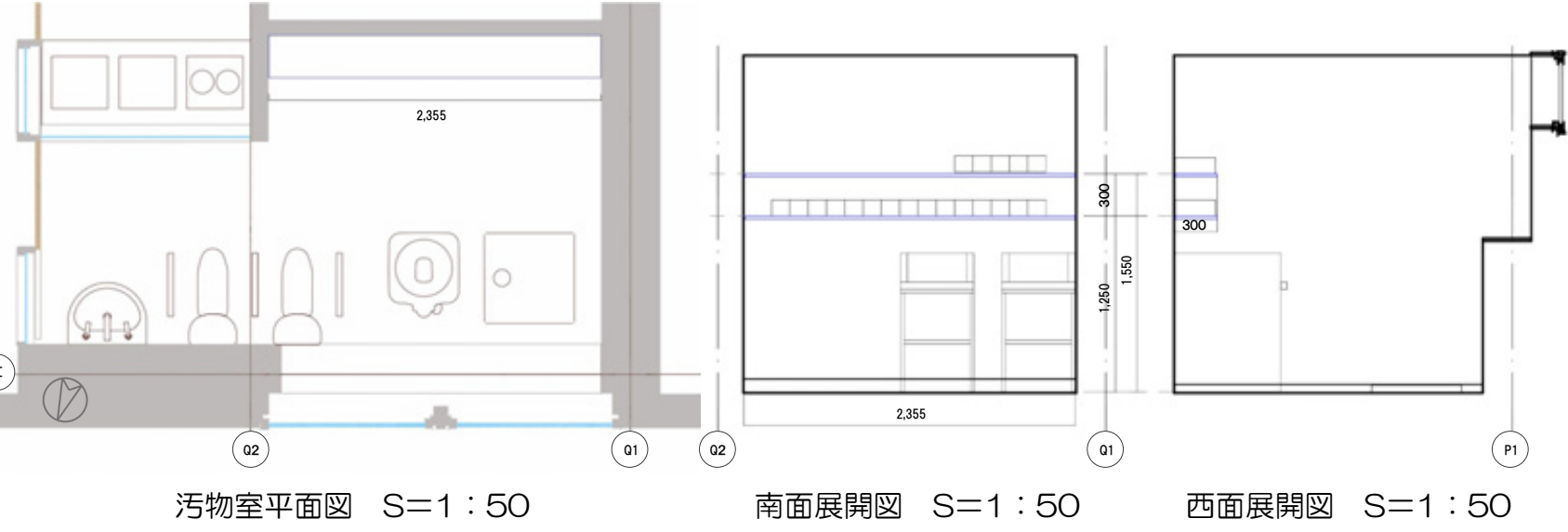
2) 設置場所について（0-1,2,3,4,5歳）  
手洗い場と各保育室から近く、かつ、動線の妨げにならない場所を考えながら選定した。



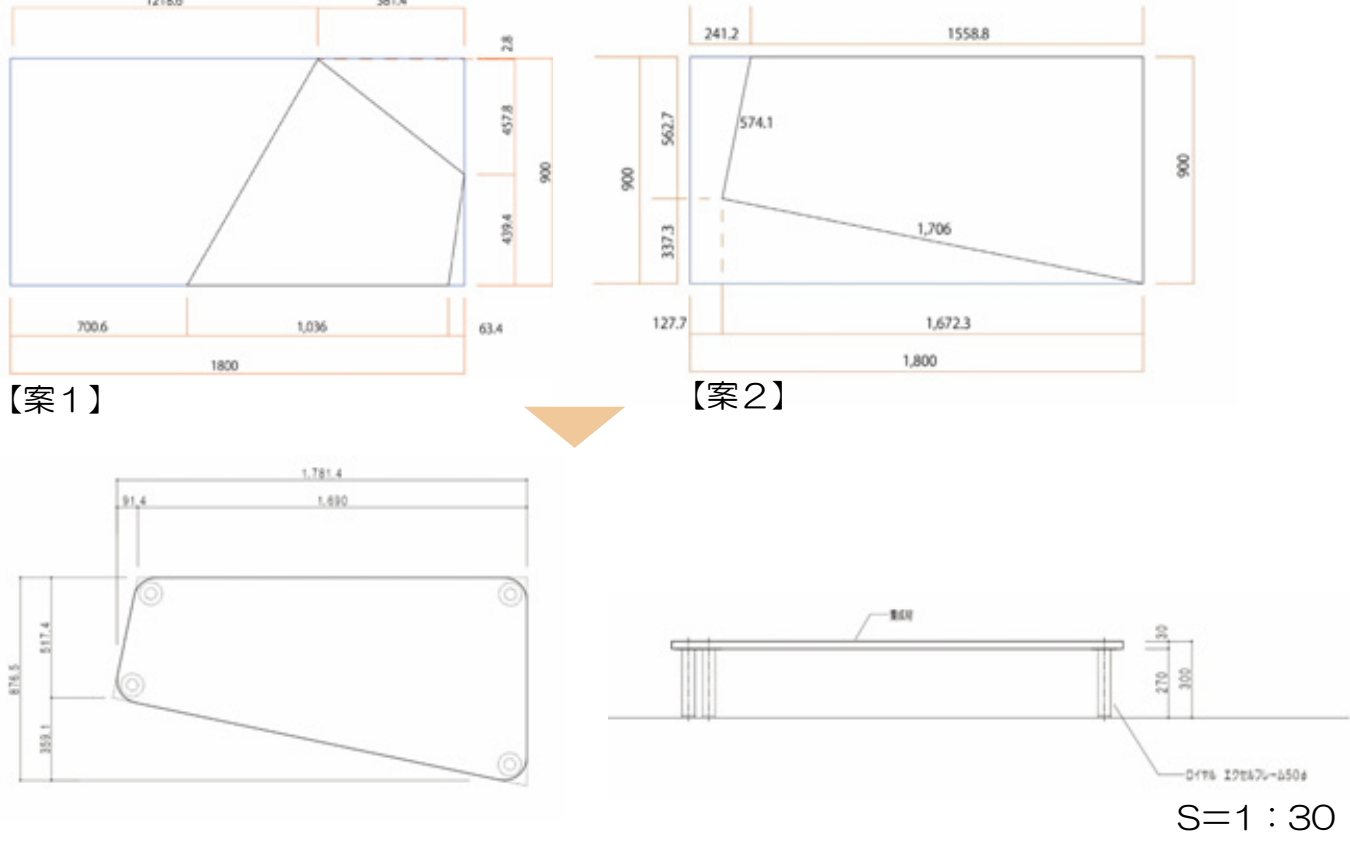
3) 設置高さは、0-1歳保育室：700mm、2,3,4,5歳保育室：800mmとした。



- おむつ収納棚について  
形状を考え、設置場所を提案した。
- 1)形状について  
W130×D287×H115mmのケースに、おむつを収納することにした。
- 2)設置場所について（0-1,2歳）  
0-1歳は、汚物室にW2347.5×D300×H18mmのポリ合板を  
図面通りに設置し、収納する。  
2歳は、直結のトイレのライニングの上に収納する。



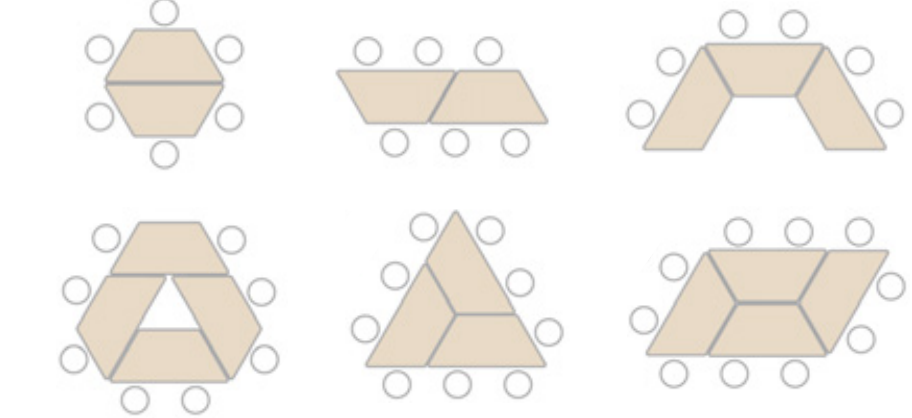
- ローテーブルについて  
各保育室で子どもたちが使用するローテーブルの形状を提案した。  
第2回WSにおいて、先生方との話し合いの結果、この形状のローテ-ブルは1Fの階段下のホールで使用するようになった。



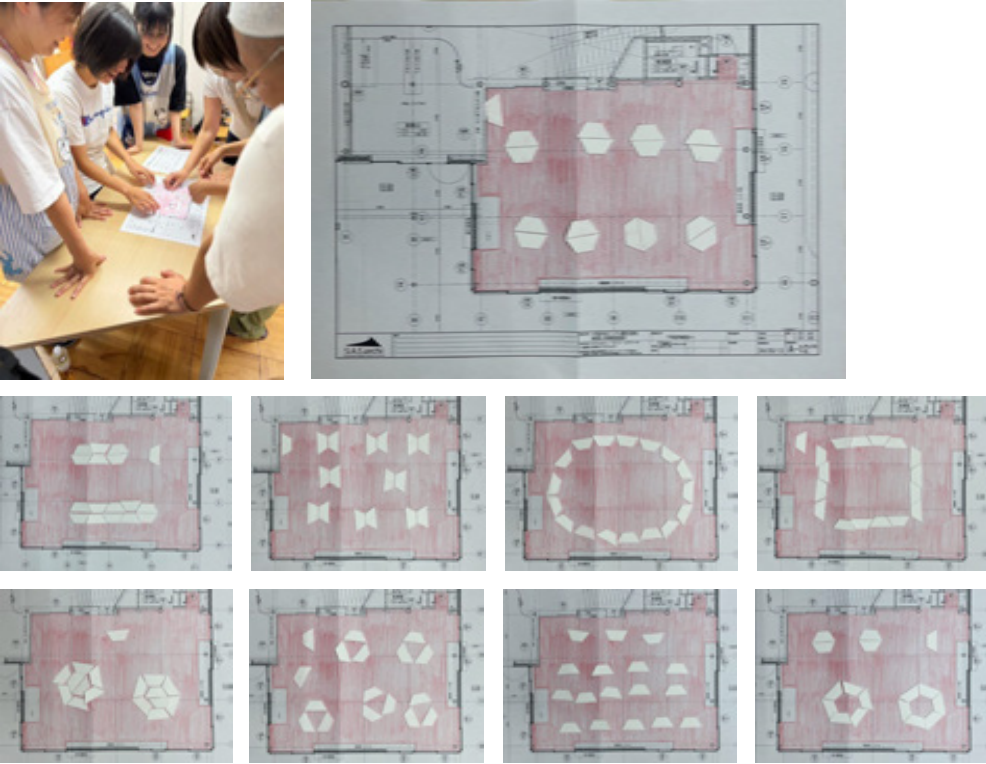
■台形並ベゲームの企画

台形並ベゲームとは、先生方が事務室で用いる作業用台形テーブルを平面図上で並べて遊ぶゲームのことである。このゲームを企画した理由は、台形の座る辺や、組み合わせ方によって形状が変わるので、様々なレイアウト変更に対応できるようにしたかったためである。第2回ワークショップの際に実施し、こども園の先生方（計13名）に2チームに分かれて取り組んでいただいた。

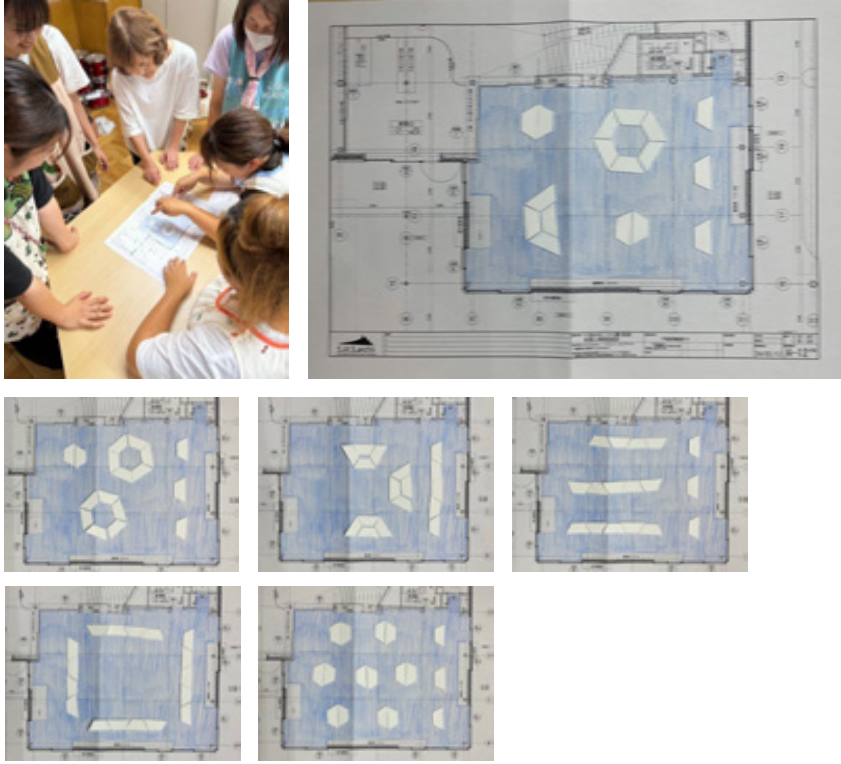
- 【ルール】
- 制限時間内に、どちらのチームがより多くの台形のレイアウトを考えられるかを競う。
  - 17個の台形を使い切ることで1レイアウトとする。
  - すべての台形が事務室の中に収まるようにすること。
  - 配置は異なっているとしても、同じ形状を入れ替えただけの場合は、カウントしない。



【赤チーム】



【青チーム】



■サイン計画

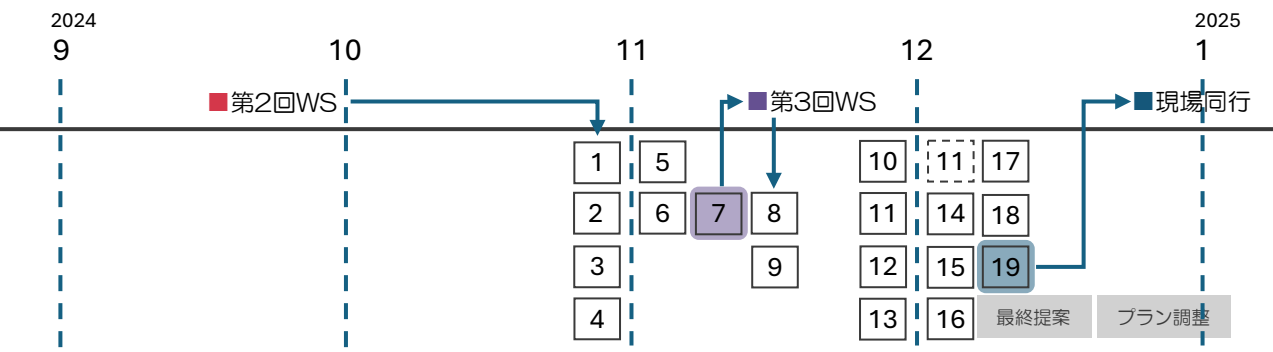
0-1,2,3,4,5歳の保育室と、時間外保育室の計6つのサインを計画した。

【概要】

- 材料：ヒノキ板（t30×W200×H200mm）
- 固定方法：マグネットテープ（仮）（W15×150mm）

→園を運営していく中で、保育室の配置変更が行われても良いように、取り外しができるようにしてある。

【最終提案までの変遷】（提案：1～19）



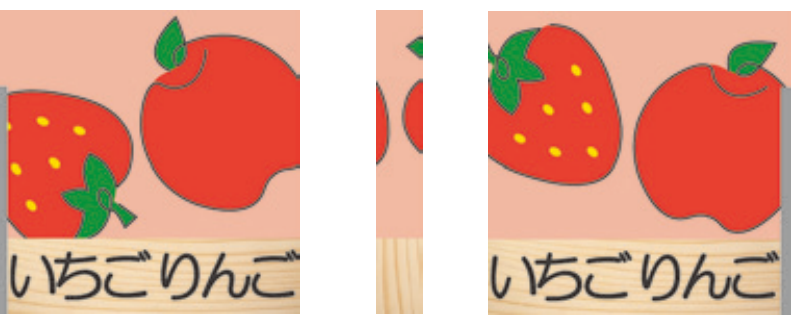
【提案7】



【クラスの名前と色について】

5歳	ゆり	黄緑
4歳	たんぼぼ	黄
3歳	さくら	桃
2歳	みかん	橙
1歳	りんご	赤
0歳	いちご	赤
時間外	そら	青

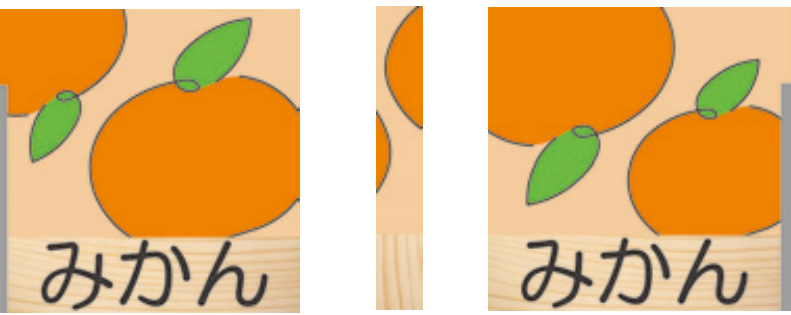
0-1歳保育室



4歳保育室



2歳保育室



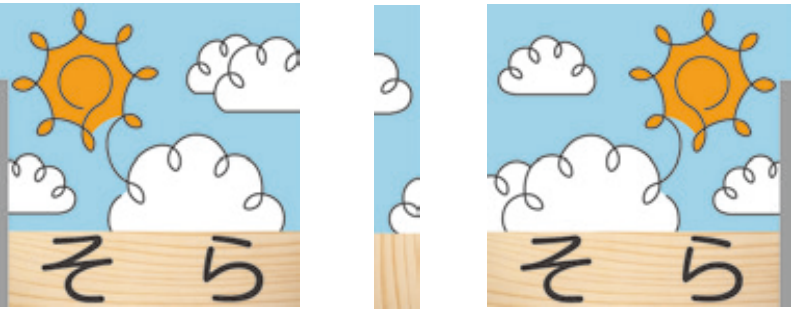
5歳保育室



3歳保育室



時間外保育室



	C	M	Y	K
a	3	35	33	0
b	0	0	0	90
c	0	87	80	0
d	80	20	100	0
e	0	15	100	0

CMYK表

こどもたちの居場所の創出

- 【やりたいこと】
- こどもの行動特性を活かした家具づくり 一様な用途のある**遊具みたいな家具**→遊ぶときは「**遊具**」、遊ばないときは「**家具**」となる。
- こどもたちにとって**居場所**となるような空間を目指す。

- 【この考えに至った背景】
- こども園での行動観察や、こどもに関する情報収集をしている中で、**こどもの遊びを作り出す才能**に着目したから。

- 【デザインコードの抽出】
- ニッチと階段下を「**こどもたちが寄り添う居場所**」として定義し、以下の通りにデザインコードを見つけ出し、設計した。

ニッチ

- 5-6人
- 「凹」
- 迷路
- 包容
- 「静」

階段下

- 20-35人
- 「凸」
- 連続
- 開放
- 「動」

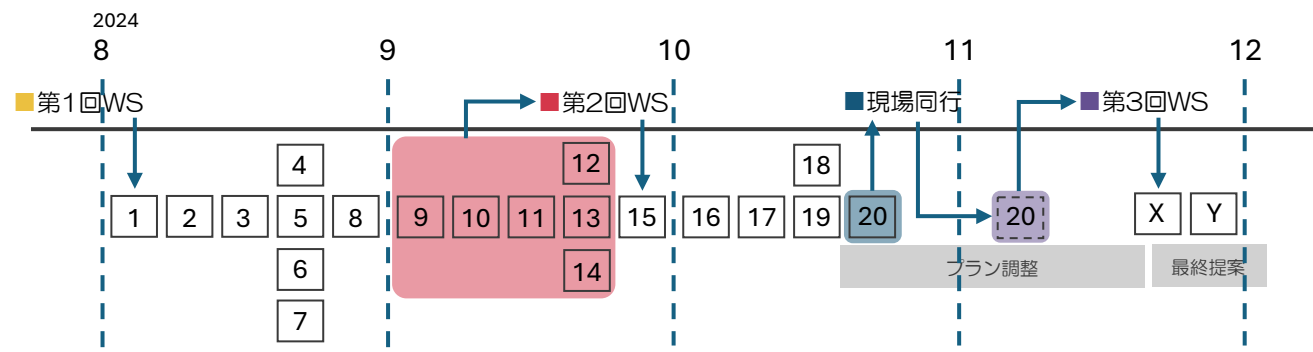
“個性”のある場所

“集団性”のある場所

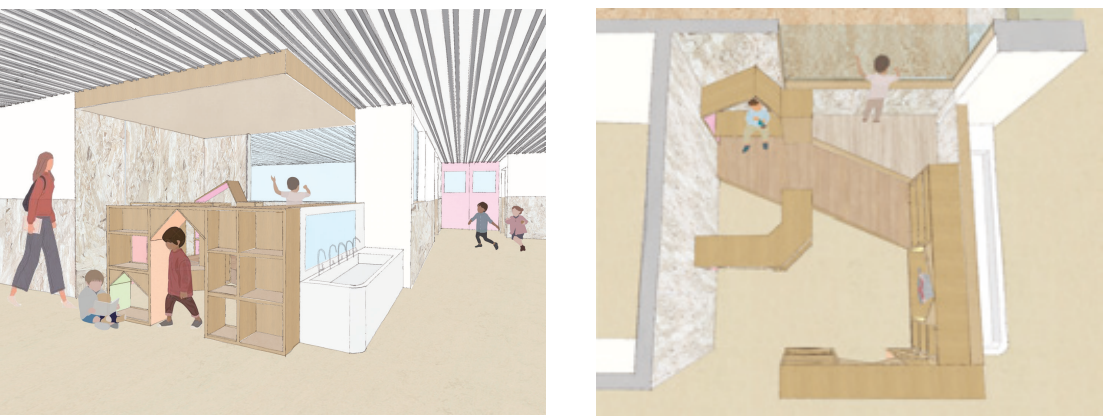
- 家型
- 段々
- ローテーブルの角度
- 安全
- 清潔

■ニッチ

【最終提案までの変遷】（提案：1～20）



【最終提案について】

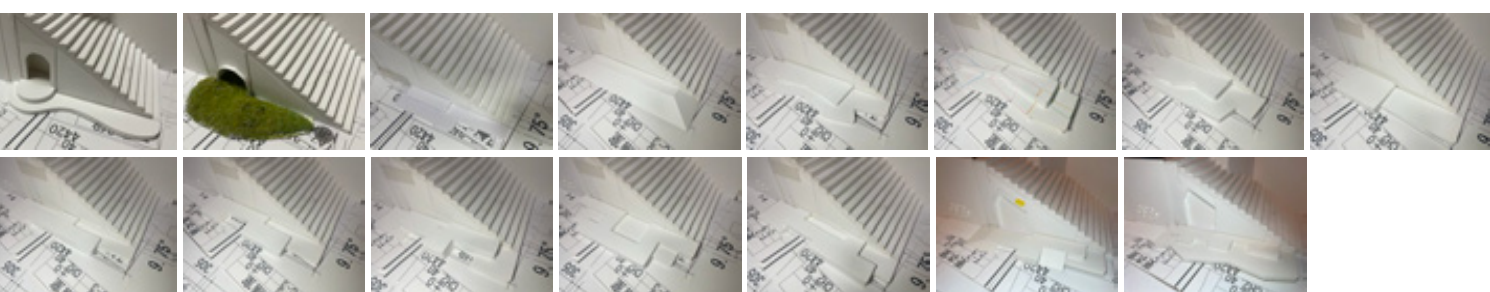
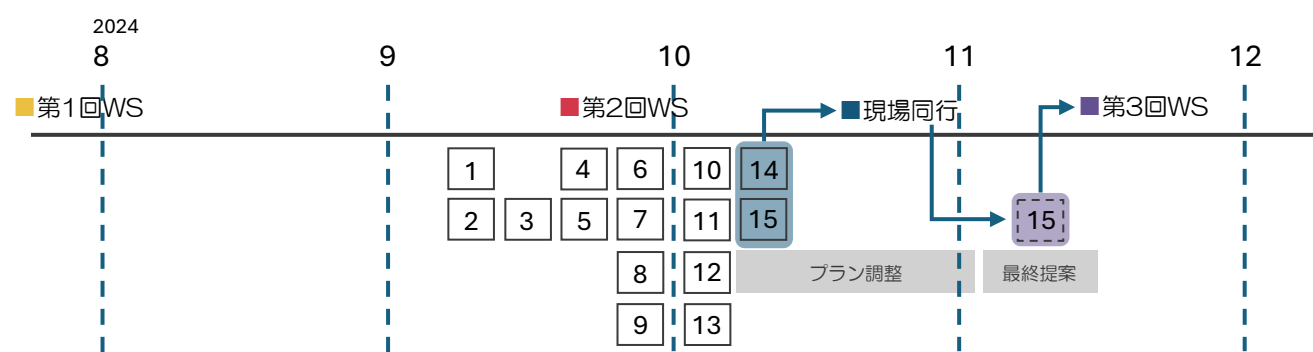


Point

- こどもたちにとっては隠れ家的な場所であるが、先生方にとっては安全に見守ることができる。
- 本棚の中で本を読むことができる。
- ワクワク感と安心感を得られる。

■階段下

【最終提案までの変遷】（提案：1～15）



【最終提案について】

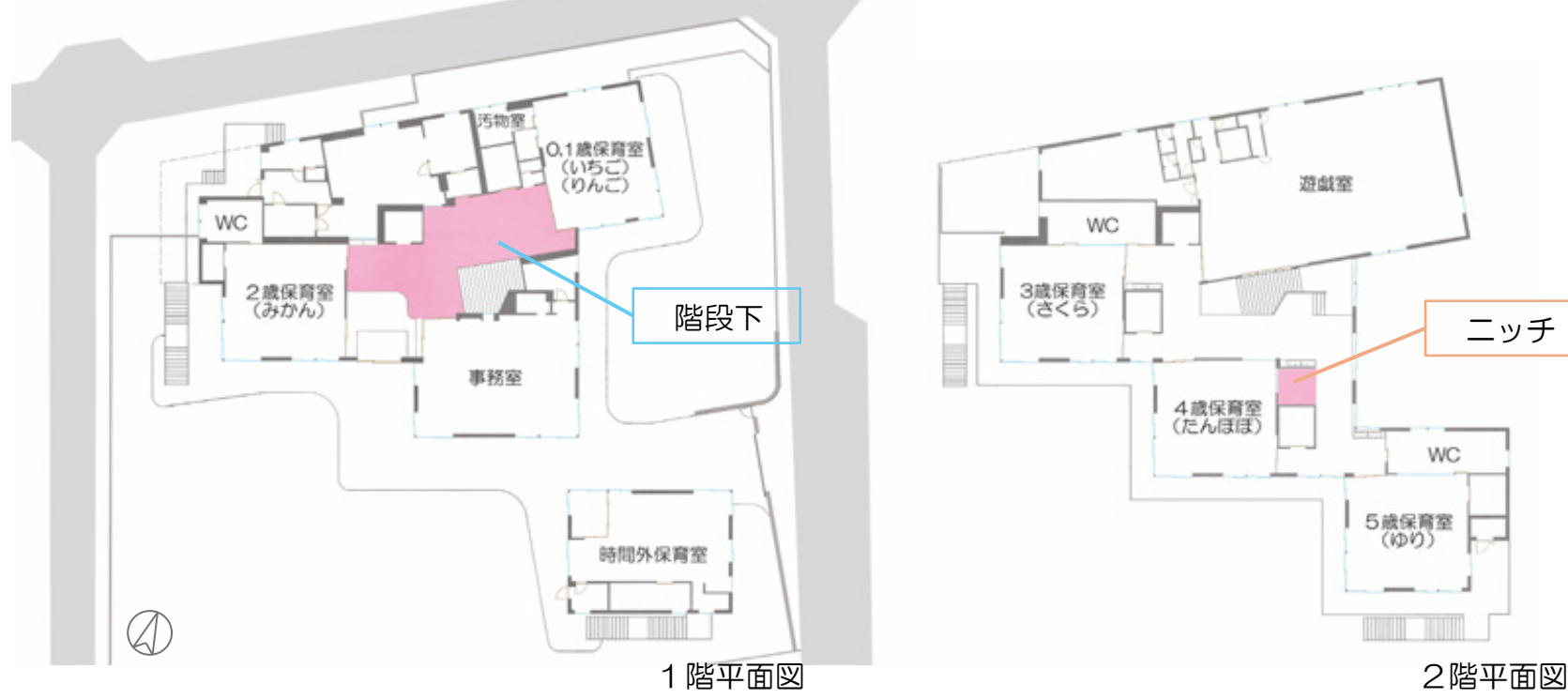
Point

- ローテーブルの形状と合うようにした。
- こども2人が座れるサイズのくぼみを何ヵ所か設けた。
- お気に入りのくぼみを見つけて遊ぶ。
- 家型のくぼみには、ホワイトボードを貼る。
- 壁にお絵描きができる。

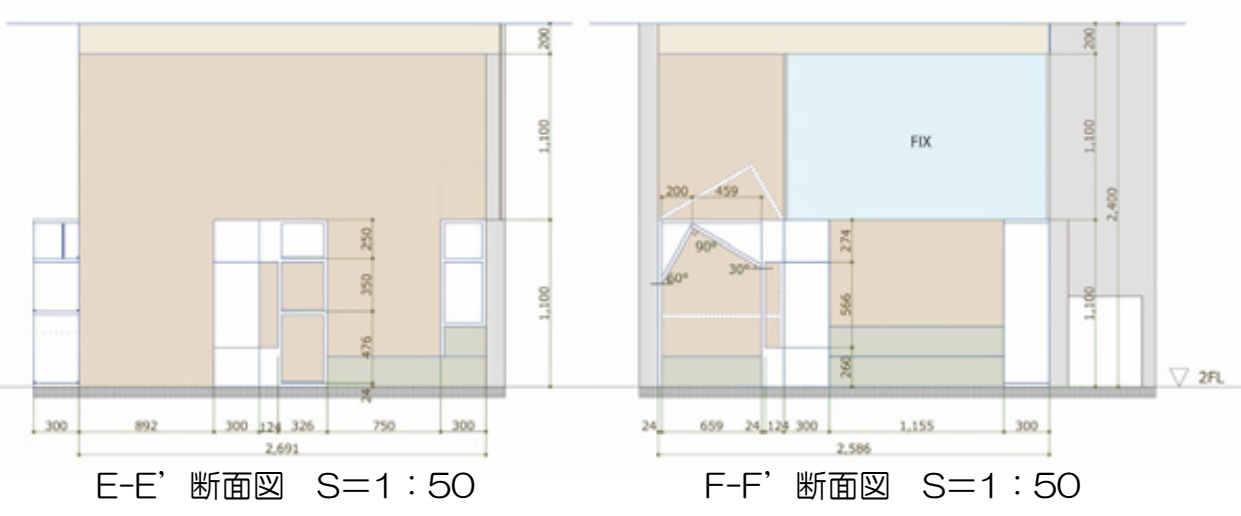
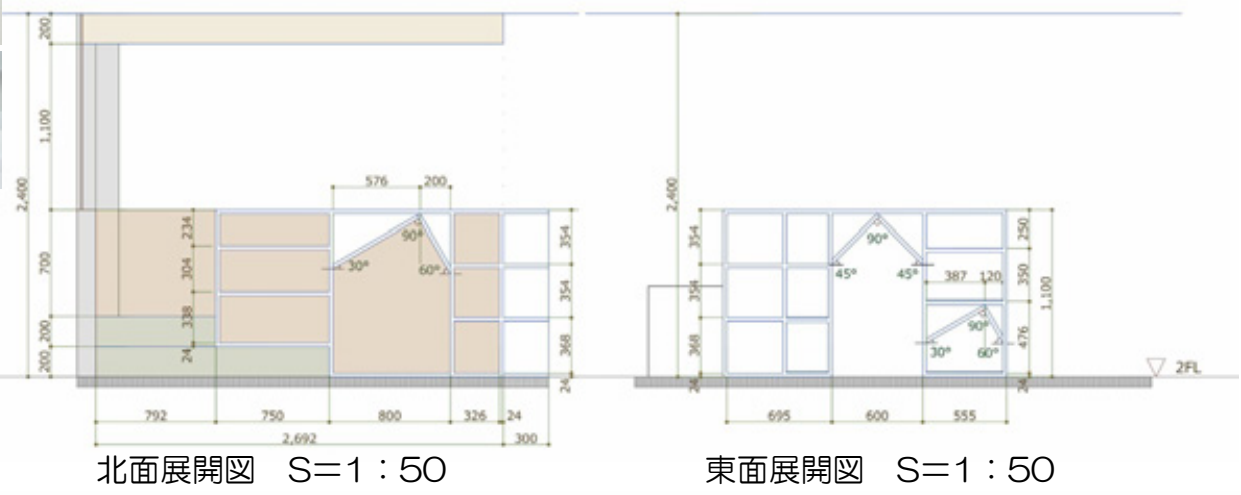
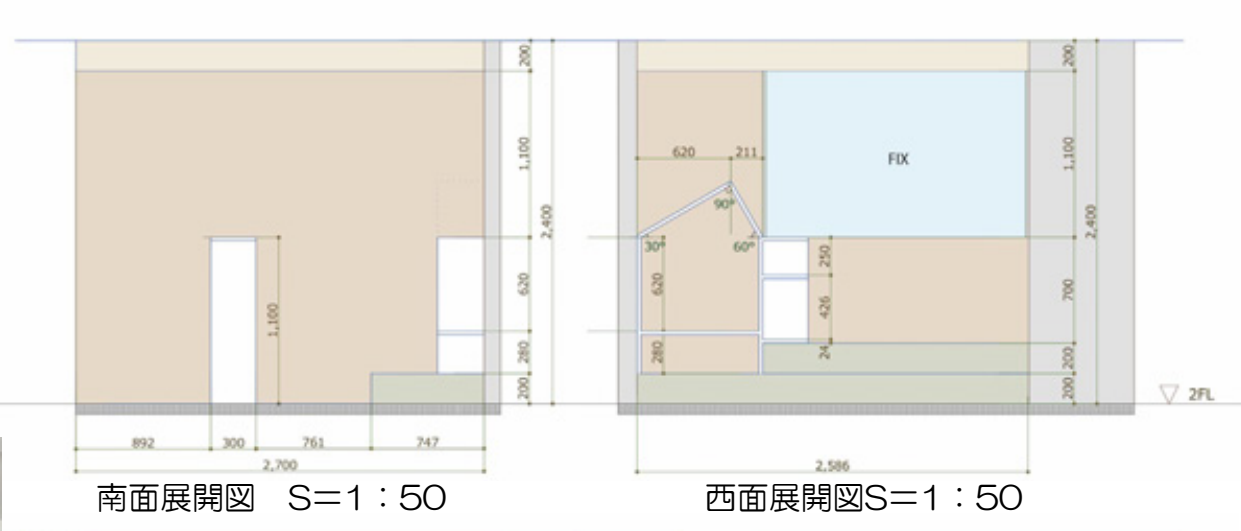


（ALL 4KIDS ナーサリースクール 竜王山の園児のみんな）

【ニッチと階段下の場所】



- 【仕上げについて】
- 天井 緑：木材、天井面：ベージュ塗装（200mm下げる）
  - 壁1 OSB
  - 床1 フローリング（上段：1、下段：2）
  - 床2 リノリウム



ニッチ平面図 S=1:50

